事例No.	590
公表年度	H28
団体の属性	一般市
団体名	茨城県ひたちなか市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・教育・子育て

事例種類	公共施設等総合管理計画に基づく公共施設マネジメント

事例内容・タイトル

子育て支援・多世代交流施設整備事業（複合化・公共施設最適化事業債・公共施設等適正管理推進事業債）

出典

公共施設最適化事業債を活用した先進事例

茨城県ひたちなか市（人口15万人）

子育て支援・多世代交流施設整備事業

事業の概要

中心市街地に立地している民間企業の遊休施設を市が取得し、老朽化した青少年センター及び生涯学習センターの機能を移転するとともに、新たに子育て支援機能及び地域交流機能を加え、複合施設として整備する。

事業のポイント

老朽化



青少年センター

＋

老朽化



生涯学習センター

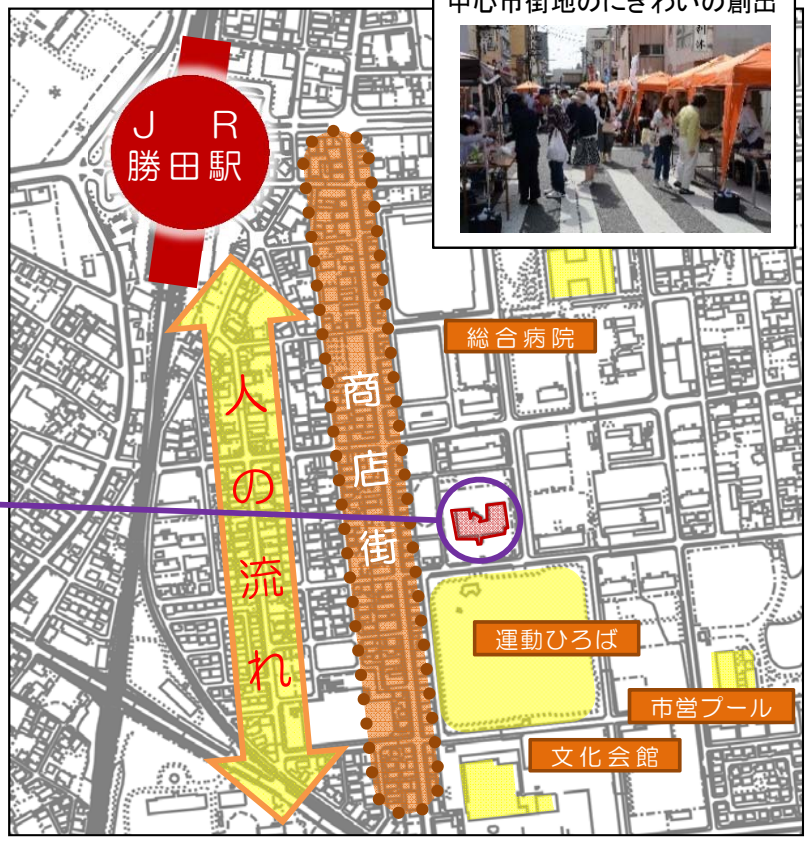
移転・
複合化

○　民間企業の遊休施設を取得し整備

複合化　青少年センター
生涯学習センター

追加　子育て支援機能
地域交流機能





中心市街地のにぎわいの創出

複合化　青少年センター及び生涯学習センターの機能を集約
公共施設最適化事業債を活用（床面積1,628㎡→1,621㎡）

追　加　子育て支援機能（プレイルーム、一時預かり室等）
及び地域交流機能（まちづくり交流スペース等）を追加

事業の効果

○　商店街に隣接する遊休施設を有効活用することにより、利用者の利便性が向上する。
○　利用者の異なる機能を1か所に集め、複合施設として整備することにより、多世代の交流を促進する。
○　これらによって、コミュニティの活性化を図るとともに、中心市街地のにぎわいを創出する。